

リユーススポット実証事業 事業報告書

実施団体名 郡山市

2024年12月

実施事業の概要

リユーススポットの運営

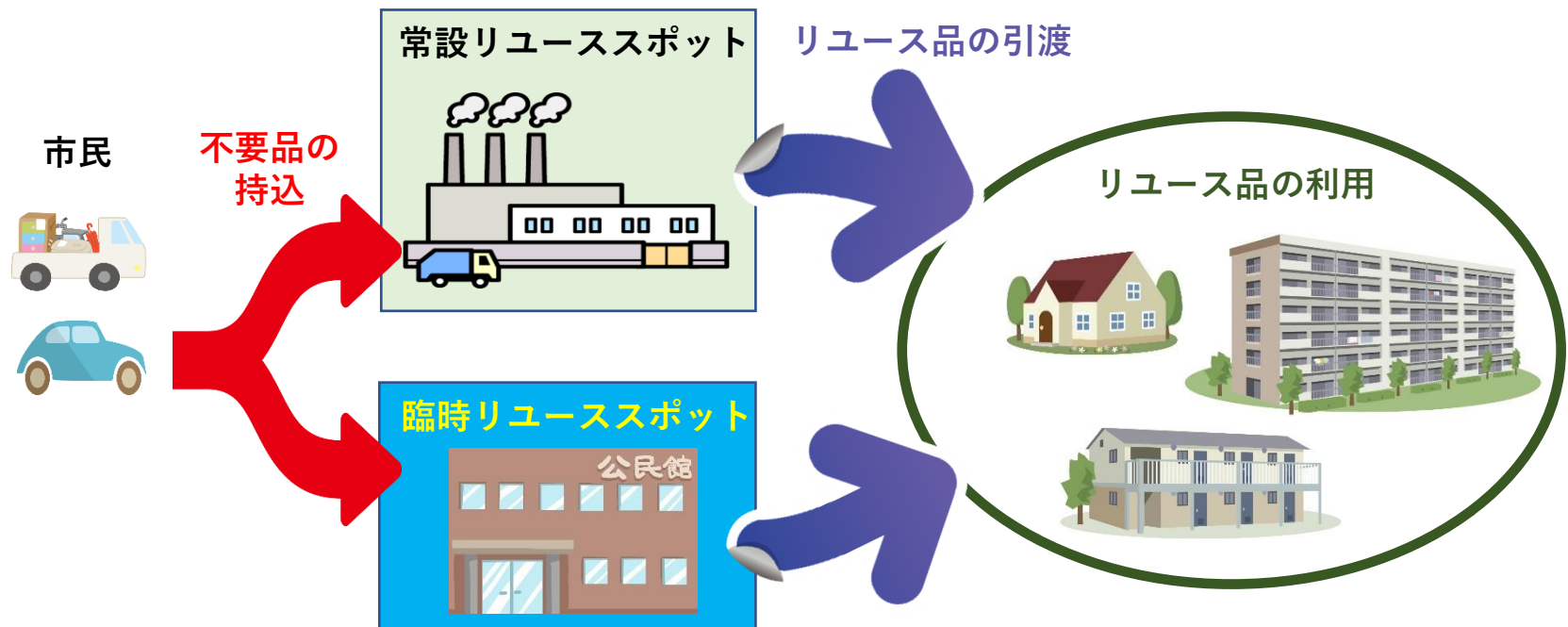
■自宅にある「不要だけどまだ使える物」を、欲しい人に使ってもらう

⇒ごみとして捨てられる前に集め、ごみの減量化につながる

■常設のリユーススポットと、臨時のリユーススポットを開設

⇒常設場所から遠方の市民も利用できる機会を設け、リユースに対する意識向上を図る

実施イメージ

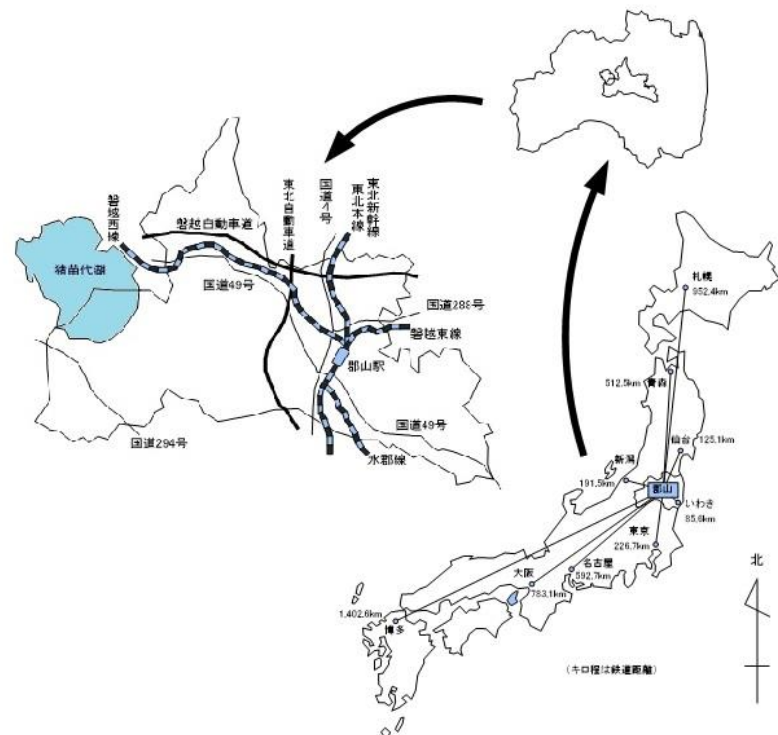


1. 対象地域の概要

郡山市の概要

福島県の中央部に位置し、西は猪苗代湖の一部、東は阿武隈山地、北は安達太良山山頂に達する。市街地東部を阿武隈川が南北に流れ、中央部は猪苗代湖を水源とする安積疏水・新安積疏水により灌漑が進み、稲作地帯となっている。

交通の要衝でもあり、中央部を東北自動車道と国道4号が南北に貫き、磐越自動車道と国道49号が東西に交差しているほか、鉄道は東北新幹線や東北本線をはじめ、磐越西線・磐越東線・水郡線の結節点となっている。



現住人口		世帯数		人口密度		産業別就業者数			
318,894人		144,033世帯		424.90人／km ²		第1次	第2次	第3次	
						2.8%	23.7%	69.3%	
年齢構成									
～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～
7.7%	8.9%	9.4%	11.4%	14.0%	12.9%	13.5%	11.4%	6.4%	1.7%

※現住人口・世帯数は令和6年12月1日現在、人口密度は令和5年10月1日現在、産業別就業者数・年齢構成は令和2年度国勢調査より

1. 対象地域の概要

郡山市で実施済みのリユース事業

■粗大ごみ再使用推進事業の実施

2008（平成20）年度から、循環型社会の形成とごみ減量化を図ることを目的として実施し、2019（令和元）年8月までに実施した35回の展示会で626点をリユースした。同年10月に発生した水害で会場が使用できなくなり、さらに、翌年からの新型コロナウイルス感染症まん延により、市民が集まるイベントであるため中止していた。



品物を集める職員の不足から、開催数は年に数回、出品数も1回当たり20点程度となっており、新たな開催方法について模索していた。

■掲示板サイト「ジモティー」の利用

2023（令和5）年1月16日、循環型社会の構築と、ごみの削減に向けた取り組みを進めるため、株式会社ジモティーとリユースに関する協定を締結した。

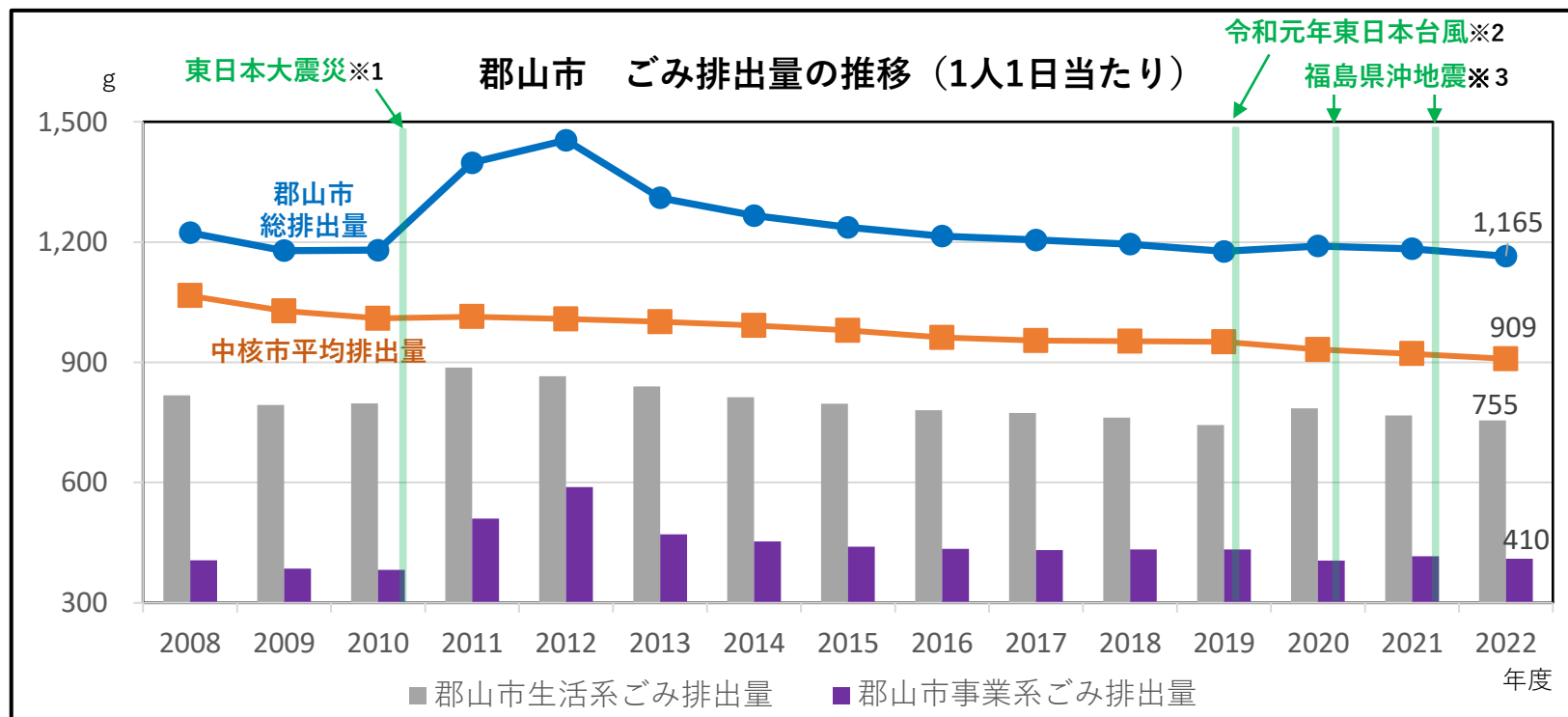
■リユースプラットフォーム「おいくら」の利用

2023（令和5）年11月24日、リユースプラットフォーム「おいくら」の活用による不要品リユースを推進するため、株式会社マーケットエンタープライズと協定を締結した。

2. 事業の目的

郡山市の現状

郡山市は、災害のたびにゴミ排出量が増加しており、令和4年度実績による比較で、1人1日当たりゴミ排出量が中核市62市中で最も多くなっている。



- ※1 東日本大震災・・・2011（平成23）年3月11日に発生したマグニチュード9.0の地震。郡山市では震度6弱を観測。
- ※2 令和元年東日本台風・・・2019（令和元）年10月12日午後から本市へ接近・通過した台風19号による水害。阿武隈川の越水等により21,331世帯が浸水するなどの被害が出た。
- ※3 福島県沖地震・・・①2021（令和3）年2月13日に発生したマグニチュード7.3の地震。郡山市では震度6弱を観測。
②2022（令和4）年3月16日に発生したマグニチュード7.4の地震。郡山市では震度5強を観測。

2. 事業の目的

事業の目的

■リユースの推進によるごみ減量

市民のリユース行動を支援するため、株式会社ジモティー及び株式会社マーケットエンタープライズと連携協定を締結し、「ジモティー及びおいぐらの利活用」促進を図ってきた。しかし、「パソコンの使い方が分からない」という高齢者等や、「ごみとして出すほうが楽」という郊外に住む市民が一定数おり、対応を検討する必要があった。

令和元年度から中止していた「粗大ごみ再使用推進事業」の代替事業を検討していたこともあり、新たな事業として実施。本実証実験により、市民のニーズを分析し、郡山市に合った事業形態を模索する。

郡山市からのお知らせ

リユーススポットを利用してごみを減らそう

不要になったリユース品大募集

受け入れ・引き渡し 無料

不要だけどまだ使えるもの、みなさんの家にありませんか？
必要としている人に使ってもらいましょう！

常設リユーススポット
河内クリーンセンター管理棟玄関ホール
郡山市蓬瀬町河内字西午房沢 59
【お問合せ先】
▷5 R 推進課：024-924-2181
▷リユーススポット直通：080-5347-3464

10/3(木) >>> 12/13(金)
9:00 ~ 16:00(※土・日曜日を除く)

河内小学校
蓬瀬公園
河内クリーンセンター

臨時リユーススポット
市内公共施設（会場は裏面のとおり）

対象品

- ◎家具
- ◎陶器・食器
- ◎日用雑貨
- ◎書籍
- ◎CD、DVD
- ◎スポーツ用品
- ◎バッグ
- ◎衣類・子供服、タオル（新品又は洗濯済み）

除外品

- ×自転車
- ×寝具
- ×家電（コンセント又は充電電池を使用するもの）
- ×パソコン
- ×モバイルバッテリー
- ×食品
- ×医薬品
- ×動植物
- ×危険物
- ×法令、公序良俗に違反するもの
- ×事業所で使用していたもの

など

リユーススポット実証事業について
本事業は環境省「令和6年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」に採択され、実施しております。

お問合せ先
郡山市環境部5R推進課
TEL:024-924-2181
リユーススポット直通
TEL:080-5347-3464
詳しくはこちら

環境賞

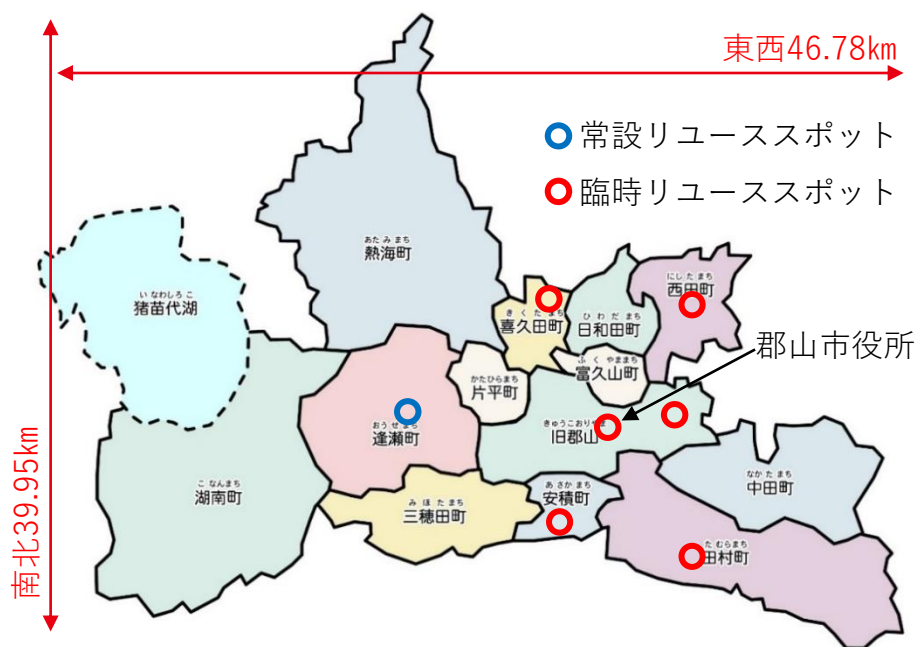
QRコード

2. 事業の目的

実施エリア

■郡山市全域が対象

郡山市は市域が広く、中心部と郊外では人口に大きな差がある。全域をカバーするリユース事業とするため、常設リユーススポットのほかに、臨時リユーススポットを1日限定で開設した。



※地図上の「旧郡山」には、右表の「郡山」「富田町」「大槻町」が入る

地域	現住人口	世帯数	備考
合計	318,894	144,033	
郡山	121,855	58,744	臨時RS設置
富田町	26,291	11,937	
大槻町	30,454	12,913	
安積町	34,639	15,696	臨時RS設置
三穂田町	3,674	1,232	
逢瀬町	3,463	1,238	常設RS設置
片平町	5,924	2,061	
喜久田町	12,076	4,681	臨時RS設置
日和田町	10,331	4,167	
富久山町	37,682	17,739	
湖南町	2,448	1,044	
熱海町	4,906	1,716	
田村町	17,431	8,061	臨時RS設置
西田町	3,937	1,400	臨時RS設置
中田町	3,783	1,404	

数値は令和6年12月1日現在
RS…リユーススポットの略

3. 事業の内容

実施内容

■ 2 種類のリユーススポットを設置

郡山市西部（逢瀬町）の河内クリーンセンター内に常設の「常設リユーススポット」を、郡山市東部の公共施設に1日限りで設置する「臨時リユーススポット」を開設する。

取組	常設リユーススポット	臨時リユーススポット
実施内容	郡山市河内クリーンセンターに開設し、リユース品の引き取り及び引き渡しを行う。	公共施設に1日限定で開設し、リユース品の引き取り及び引き渡しを行う。
取扱対象品	家具、陶器、日用雑貨、書籍、CD、DVD、スポーツ用品、バッグ、衣類（新品又は洗濯済みに限る）など。	左記から、大型のもの（「長さが1m以上」「3辺の長さの合計が1.5m以上」「重さが10kg以上で容易に運搬しがたい」のいずれかに該当するもの）を除く
取扱除外品	自転車、寝具、家電（コンセント・充電電池を使用するもの）パソコン、モバイルバッテリー、食品、医薬品、動植物、危険物、法令及び公序良俗に反するもの、事業所で使用していたものなど	
実施時期	令和6年10月3日から12月13日までの月曜日から金曜日（祝日含む）	7回（常設リユーススポット開設期間内の土曜日）
選定のポイント	広い駐車場があること、長期間借用できるスペースがあること、リユースされなかった物の廃棄が容易であること	広い駐車場があること、常設リユーススポットから離れた場所であること、来場者が容易に認知できる場所であること

3. 事業の内容

実施内容

■常設リユーススポット（河内クリーンセンター・逢瀬町）

郡山市の一般廃棄物処理施設である河内クリーンセンター管理棟で実施。

- ・ 会場設営 10月1日（火）から10月3日（木）まで
- ・ 開設 10月3日（木）から12月13日（金）までの月曜日から金曜日（祝日含む）
- ・ 閉鎖業務 12月16日（月）から12月20日（金）まで
- ・ 部屋面積 家具置場 約24㎡ その他置場 約24㎡
- ・ 選定条件 広い駐車場があること、長期間借用できるスペースがあること、リユースされなかった物の廃棄が容易であること



3. 事業の内容

実施内容

■臨時リユーススポット

郡山市内の公共施設において、土曜日1日限りで実施。常設リユーススポットの物を一部搬出して展示、終了後残った物は常設リユーススポットへ持ち帰る。

- ・選定条件 広い駐車場があること、常設リユーススポットから離れた場所であること、リユース品が置けること、来場者の出入りが容易であること

会場名	開催日	部屋面積
郡山市役所 本庁舎玄関ホール (郡山)	10/5 11/9	約40㎡
西田公民館 会議室 (西田町)	10/12	約50㎡
安積総合学習センター 体育館 (安積町)	10/19	約75㎡※

会場名	開催日	部屋面積
田村公民館 休憩所 (田村町)	11/16	約20㎡
喜久田公民館 研修室 (喜久田町)	11/23	約47㎡
緑ヶ丘地域公民館 和室 (郡山)	11/30	約55㎡

※体育館の一部を使用したため、面積は概算



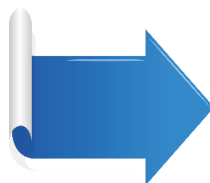
3. 事業の内容

リユース品の持込み

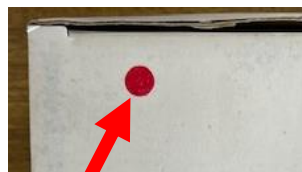
予約無しで来場可。ごみ処理手数料が無料のため、持込料も無料。



市民がリユース品を持ち込み



担当者が持込品を確認、除外品を返却



シール



展示週を区別するシールを貼付し、即時陳列

ジモティー / 売ります・あげます / 家具 / テーブル / 座卓

【郡山市役所リユーススポット】ローテーブル (ジ-2)

投稿ID: 1cz3z8 2024年10月9日 13:37



価格	0円
取引場所	郡山市
ジャンル	テーブル > 座卓、ローテ

大型家具は郡山市公式ジモティーへ出品

3. 事業の内容

リユース品の引渡し

予約無しで来場可。これまで実施していた「粗大ごみ再使用推進事業」も引渡無料で実施しており、本事業も引渡無料とした。

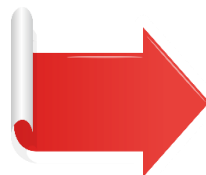
リユース品の予約や取り置きは不可とした（ジモティー掲載品も含む）。



来場者が欲しいものを選ぶ



欲しいものを受付に持参



引渡



ジモティー掲載品は
掲示板から削除



引渡品の確認、重量等を台帳に記入

3. 事業の内容

定期的な作業

■郡山市HPへの定期的な掲載

毎日変わる在庫品を紹介



■気づきノートの作成

日々の作業で気づいたことを書き込む



■在庫品の確認及び入れ替え

概ね3週間を経過しても残った物は、「人気のない物台帳」へ記載し展示を終了する。



入替作業

■返却台帳の作成

持ち込まれた品を受け取らず返却した際、どのような経緯で返却したのかを記録

■来場者数の把握

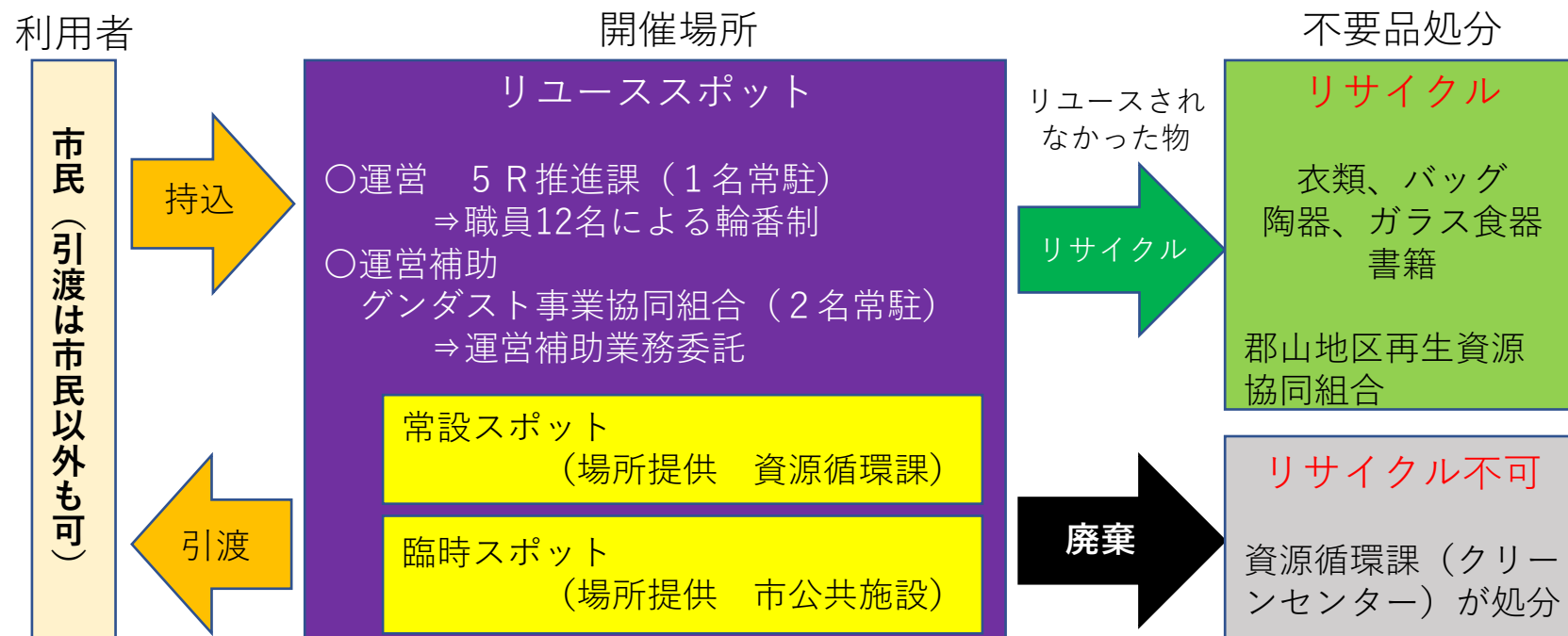
曜日、時間で来場者数の変化を確認

4. 事業の実施体制

参加団体

- 実施 郡山市 5 R 推進課 総合窓口、連携先との調整、リユーススポットの運営
- 協力 郡山市資源循環課 常設スポットの場所提供、リユースされずリサイクル不可の物の処分
- グンダスト事業協同組合 . . . リユーススポットの運営補助、リユース品の運搬
- 郡山地区再生資源協同組合 . . リユースされなかった物のうち、リサイクル可能な物をリサイクル

実施方法



5. 事業の成果

分析した内容

■定量的な効果検証

- ・ 来場者数（日ごと、曜日ごと、時間帯ごと）
- ・ 品目（持込、リユース、リサイクル、廃棄）の量
- ・ 取扱品目の傾向と人気の傾向
- ・ 市ウェブサイト、ジモティー出品の閲覧数

■定性的な効果

- ・ アンケートの内容
- ・ リユース意識の状況
- ・ ニーズのあるリユース品の状況

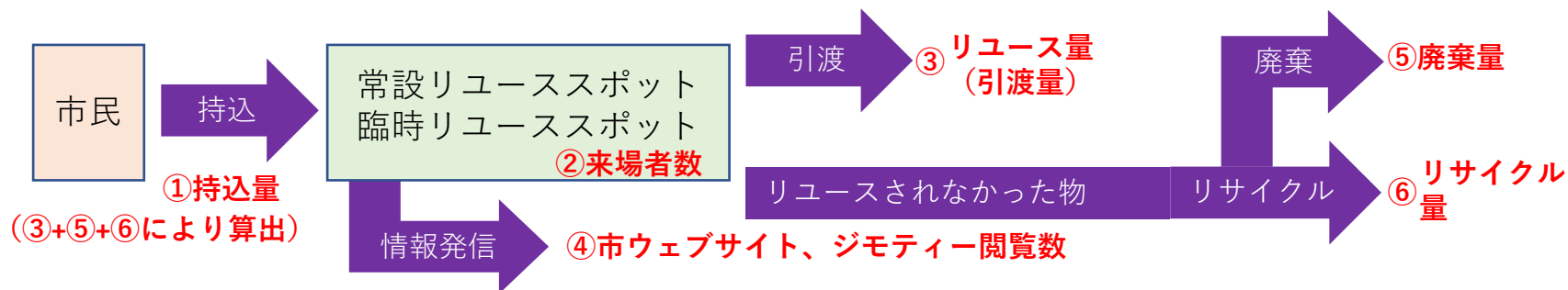
分析期間及び分析方法

■分析期間

別に指定したものを除き、10月3日から12月13日までとした。

■分析方法

定量的な集計は、次の①～⑥から集計した。定性的な集計は、アンケート結果の内容と、事務に従事した職員の聞き取りにより作成した。



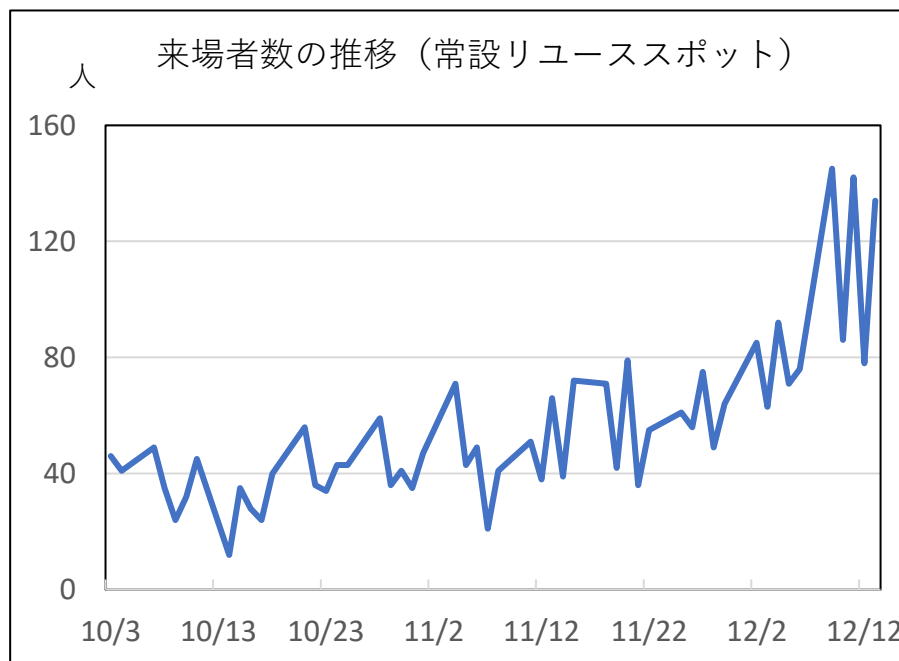
5. 事業の成果

来場者数（日ごと）

常設リユーススポットは、情報が時間とともに市民へ浸透し、来場者数は増加していった。

臨時リユーススポットは、開設場所の周辺人口と来場者数が比例する傾向があった。

	来場者数
常設リユーススポット (開設日数 52日)	2,892人 (55.62人/日)



	来場者数
臨時リユーススポット (開設日数 7日)	1,266人 (180.86人/日)
郡山市役所 (旧郡山・10/5)	138人
西田公民館 (西田町・10/12)	57人
安積総合学習センター (安積町・10/19)	289人
郡山市役所 (旧郡山・11/9)	305人
田村公民館 (田村町・11/16)	253人
喜久田公民館 (喜久田町・11/23)	128人
緑ヶ丘地域公民館 (旧郡山・11/30)	96人

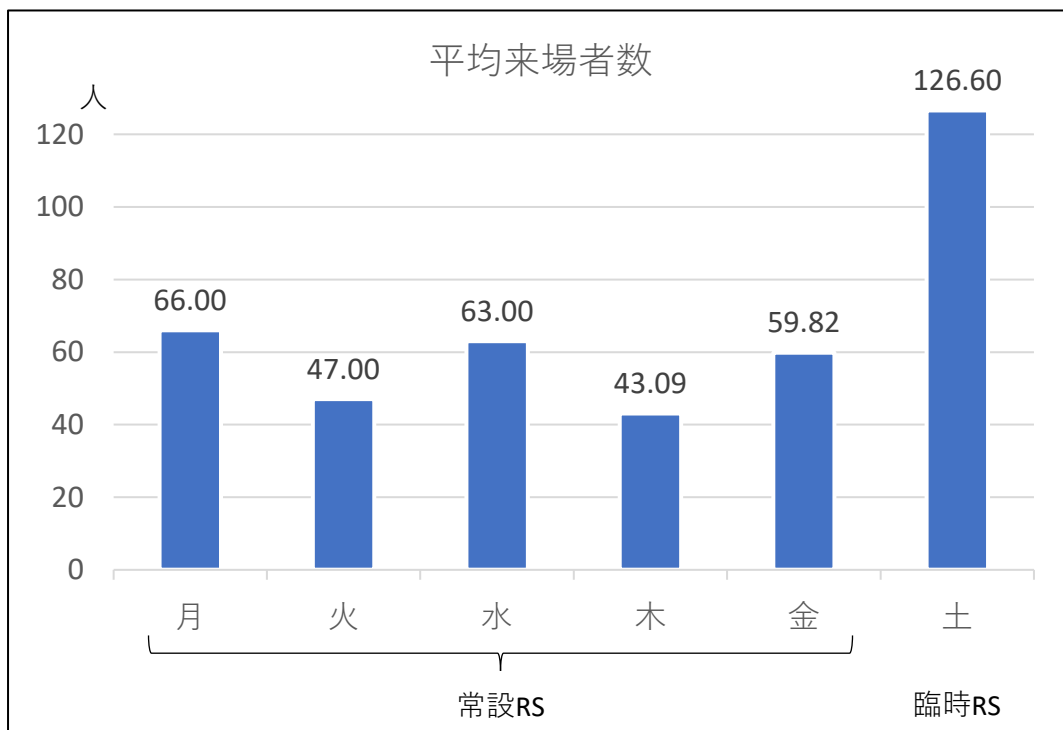
5. 事業の成果

来場者数（曜日ごと）

月曜日から金曜日は常設リユーススポット、土曜日は臨時リユーススポットを開設。

常設リユーススポットは、月曜日から金曜日にかけて少しずつ来場者が減る傾向があり、また、火曜日と木曜日の来場者は少ない傾向にあった。

臨時リユーススポットは、土曜日の開催ということもあり、来場者が多い傾向であった。



RS・・・リユーススポットの略

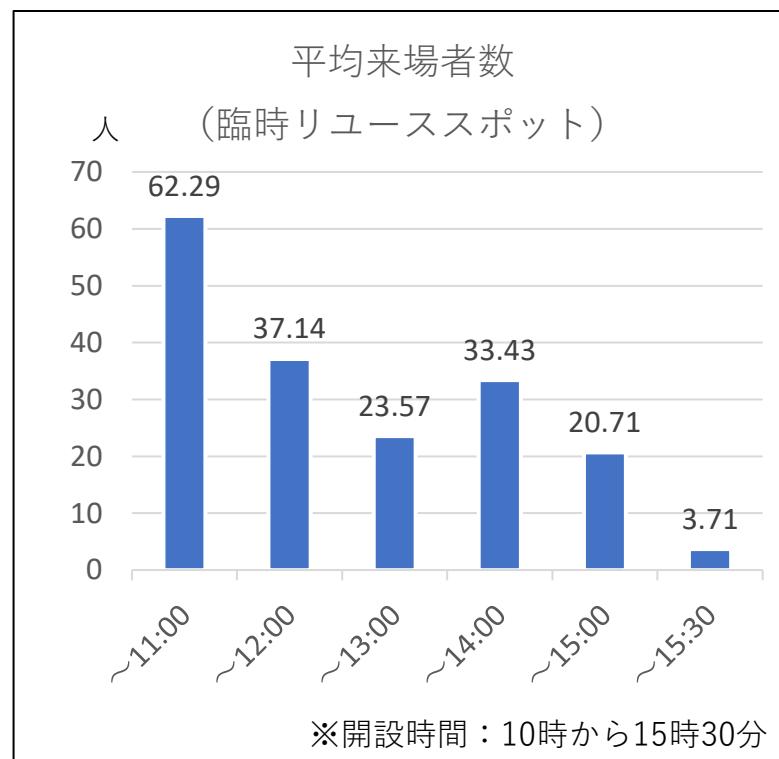
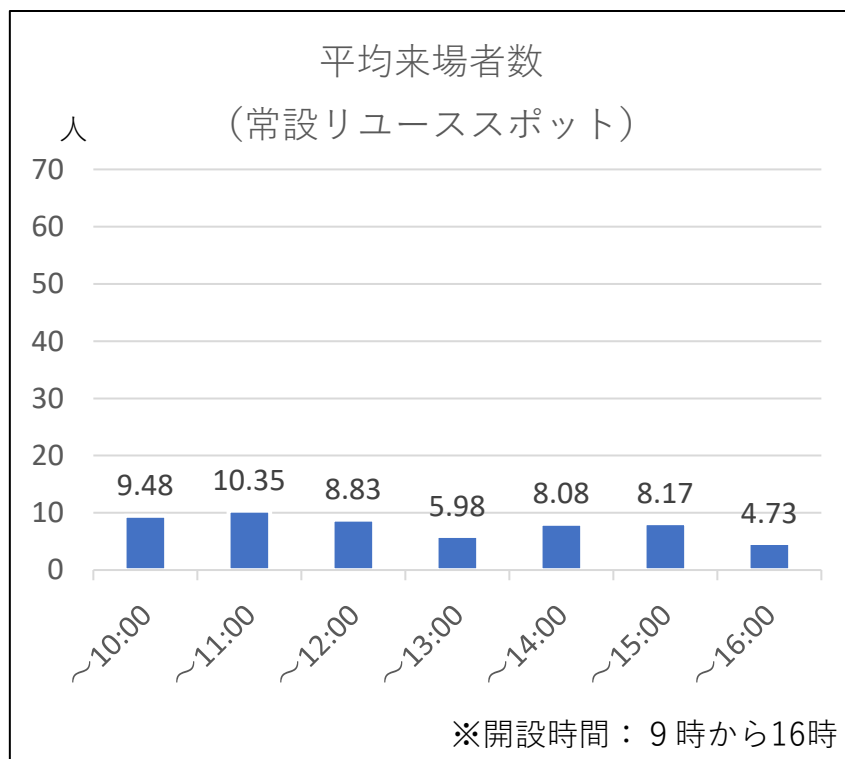


5. 事業の成果

来場者数（時間ごと）

常設リユーススポットは、時間による大きな変化は見られなかったが、正午から13時と、15時から16時は若干少ない傾向が見られた。

臨時リユーススポットの来場者は、開場待ちの行列ができる場所があるなど、開場からの1時間が最も多かった。常設リユーススポット同様、正午から13時は若干少ない傾向が見られた。



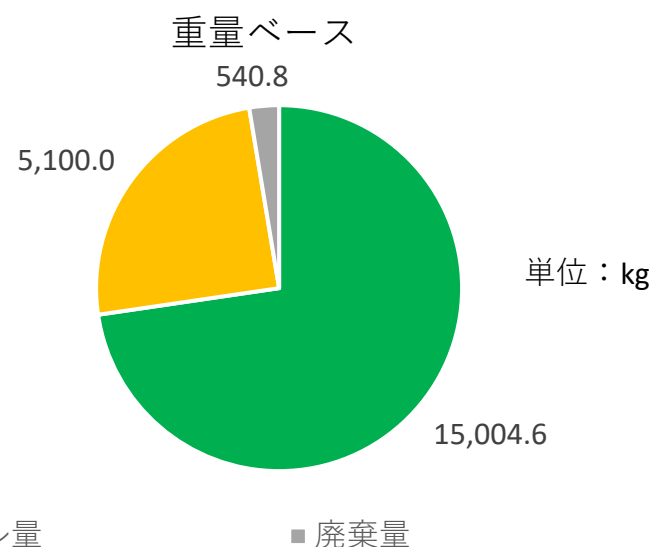
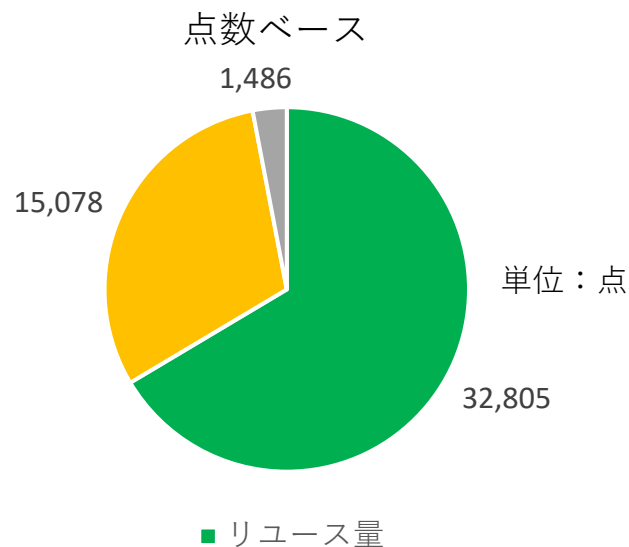
5. 事業の成果

持ち込まれた品物の処分内容

持ち込まれた品物はすぐにリユース品として展示、概ね3週間経過しても引き取られないものは、展示を終了しリサイクル品と廃棄処分物に分別、廃棄処分物はクリーンセンターで廃棄した。

総搬入量 **49,369点** **20,645.4kg**

	リユース量	リサイクル量	廃棄量
点数	32,805点 (66.4%)	15,078点 (30.5%)	1,486点 (3.0%)
重量	15,004.6kg (72.7%)	5,100.0kg (24.7%)	540.8kg (2.6%)



5. 事業の成果

処分内容の詳細

	家具	陶器・食器	日用雑貨	書籍	CD・DVD	スポーツ用品	バッグ	衣類	合計
品目ごとの搬入量	301点	15,837点	9,222点	9,345点	1,153点	222点	778点	12,511点	49,369点
	3,369.3kg	6,701.1kg	3,281.7kg	2,743.2kg	197.5kg	478.6kg	395.0kg	3,479.0kg	20,645.4kg
	うちリユース量	298点 (99.0%)	9,756点 (61.6%)	8,275点 (89.7%)	4,598点 (49.2%)	1,075点 (93.2%)	199点 (89.6%)	628点 (80.7%)	32,805点 (平均 66.4%)
		3,335.6kg (99.0%)	4,251.0kg (63.4%)	2,983.2kg (90.9%)	1,373.2kg (50.1%)	178.4kg (90.3%)	369.2kg (77.1%)	328.1kg (83.1%)	15,004.6kg (平均 72.7%)
	うちリサイクル量	0点 (0.0%)	5,646点 (35.7%)	0点 (0.0%)	4,747点 (50.8%)	0点 (0.0%)	0点 (0.0%)	150点 (19.3%)	15,078点 (平均 30.5%)
		0.0kg (0.0%)	2,370.0kg (35.4%)	0.0kg (0.0%)	1,370.0kg (49.9%)	0.0kg (0.0%)	0.0kg (0.0%)	66.9kg (16.9%)	5,100.0kg (平均 24.7%)
	うち廃棄量	3点 (1.0%)	435点 (2.7%)	947点 (10.3%)	0点 (0.0%)	78点 (6.8%)	23点 (10.4%)	0点 (0.0%)	1,486点 (平均 3.0%)
		33.7kg (1.0%)	80.1kg (1.2%)	298.5kg (9.1%)	0.0kg (0.0%)	19.1kg (9.7%)	109.4kg (22.9%)	0.0kg (0.0%)	540.8kg (平均 2.6%)

※品目の具体例について

家具・・・たんす、机、いす等

日用雑貨・・・消耗品、アクセサリ等

CD・DVD・・・CD、DVD、ビデオテープ等

バッグ・・・手提げバック、財布等

陶器・食器・・・茶碗、花瓶、コップ等

書籍・・・雑誌、文庫本、マンガ等

スポーツ用品・・・ゴルフ、スキー用品等

衣類・・・コート、スーツ、子供服等

5. 事業の成果

リユースされた品物の数

○家具の人气が高く、受け入れた家具のほとんどがリユースされた。

○書籍は、古い本や専門書の受入が多かったこともあり、他の品目に比べリユース率が低かった。

○取扱量最多は陶器・食器で、持込量も多かったが、その6割以上がリユースされた。

総リユース量 32,805点 15,004.6kg

	家具	陶器・食器	日用雑貨	書籍	CD・DVD	スポーツ用品	バッグ	衣類	合計
点数	298点	9,756点	8,275点	4,598点	1,075点	199点	628点	7,976点	32,805点
リユース率	99.0%	61.6%	89.7%	49.2%	93.2%	89.6%	80.7%	63.8%	66.4%
重量	3,335.6kg	4,251.0kg	2,983.2kg	1,373.2kg	178.4kg	369.2kg	328.1kg	2,185.9kg	15,004.6kg
リユース率	99.0%	63.4%	90.9%	50.1%	90.3%	77.1%	83.1%	62.8%	72.7%



5. 事業の成果

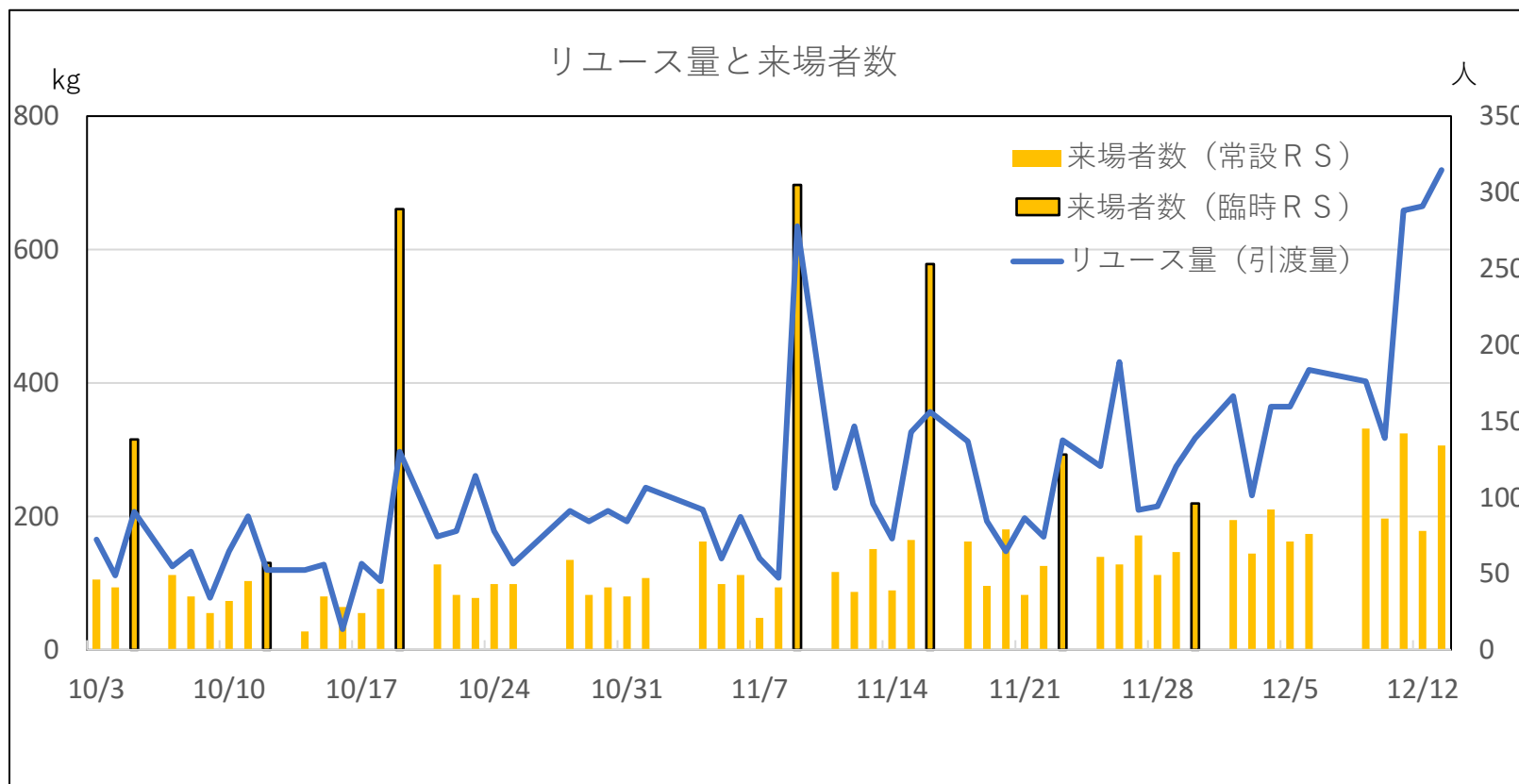
品目別リユースの傾向

	多くがリユースされた物	多くがリユースされず残った物
全般	新品や未使用品	使用感や汚れのある物、臭いの強い物
家具	いす、タンス (家具は全般に人気が高い)	修理の難しい壊れがあるもの、ブラウン管のテレビ台
陶器・食器	化粧箱入りの物、キャラクター物 やブランド物、販促品の食器	文字入りの祝い皿（「祝・〇〇記念」等）、 薄いご飯茶碗、数の揃っていない小皿
日用雑貨	洗剤などの消耗品、タオル	変色したプラスチック製品、賞状等を入れる 額、絵画（好みによる）
書籍	文庫本、マンガ	年代の古いもの、辞書・辞典、資格取得本
C D ・ D V D	—	ビデオテープ
スポーツ 用品	—	スキー用品、ボウリングの球
バッグ	ビジネスバッグ、旅行かばん	ランドセル
衣類	子供服、ブランドものの服、防寒 ジャンパー	スーツセット（上下）

5. 事業の成果

来場者数とリユース量の推移

- 臨時リユーススポットへの来場者が多い傾向にある。
- リユース量は、概ね来場者数に比例して多くなっている。また、リユーススポットの認知度が高まってきた期間後半のリユース量が増えている。

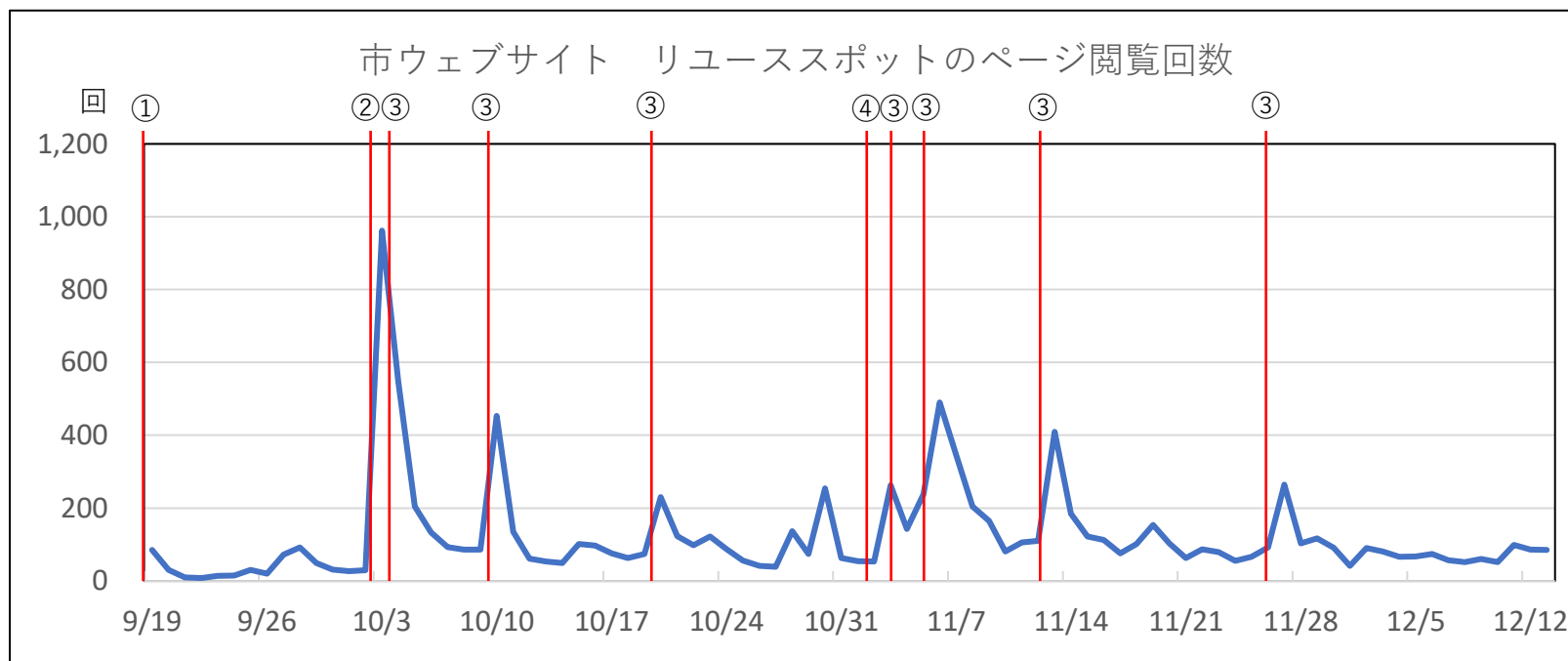


5. 事業の成果

市ウェブサイト閲覧数

リユーススポット開設初日となる10月3日に新聞折込を、その後も市SNS等を通じリユーススポットの情報を発信してきた。

最も閲覧数が増えたのは新聞折込時で、QRコード入り折込チラシからの誘導と思われる。



①・・・市ウェブサイト開設 (9/19)

②・・・リユーススポットチラシの新聞折込、市SNSを通じた情報発信 (10/3)

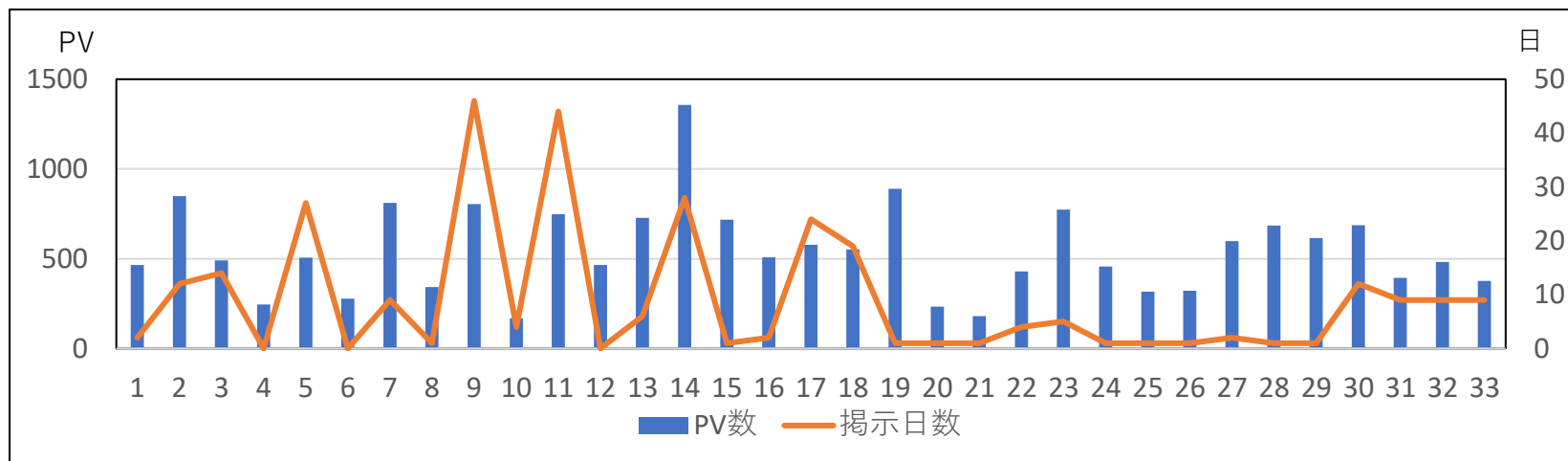
③・・・市SNSを通じた情報発信 (10/4、10/10、10/20、11/3、11/6、11/13、11/27)

④・・・報道機関投げ込み (11/1)

5. 事業の成果

ジモティーPV数

ジモティー郡山市公式ページを作成し、大型家具を掲載した。フォロワー数は開設から約3か月で203人となり、期間の後半は、掲載後短期間で引き取られることが多くなっている。



1	ダンス	8	テレビ台	15	テレビ台	22	イス	29	ダンス
2	ローテーブル	9	サイドボード	16	テーブル	23	鏡台	30	テーブル
3	机	10	テーブル	17	ダンス	24	ミシン台	31	鏡台
4	ダンス	11	ダンス	18	ダンス	25	サマーベッド	32	テレビボード
5	額	12	ソファ	19	卓球台	26	テーブル	33	鏡台
6	机	13	学習机	20	テーブル	27	机		
7	ダンス	14	ガラステーブル	21	テーブル	28	折り畳みベッド		

(補足：上段のグラフの読み方の例) ダンスは、計7品 (No.1、4、7、11、17、18、29) が公式ホームページに掲載され、No.1や4のダンスはすぐに引き取り手が見つかったが、相対的にNo.11のダンスは引き取り手が見つからず、掲載日数が長かった。

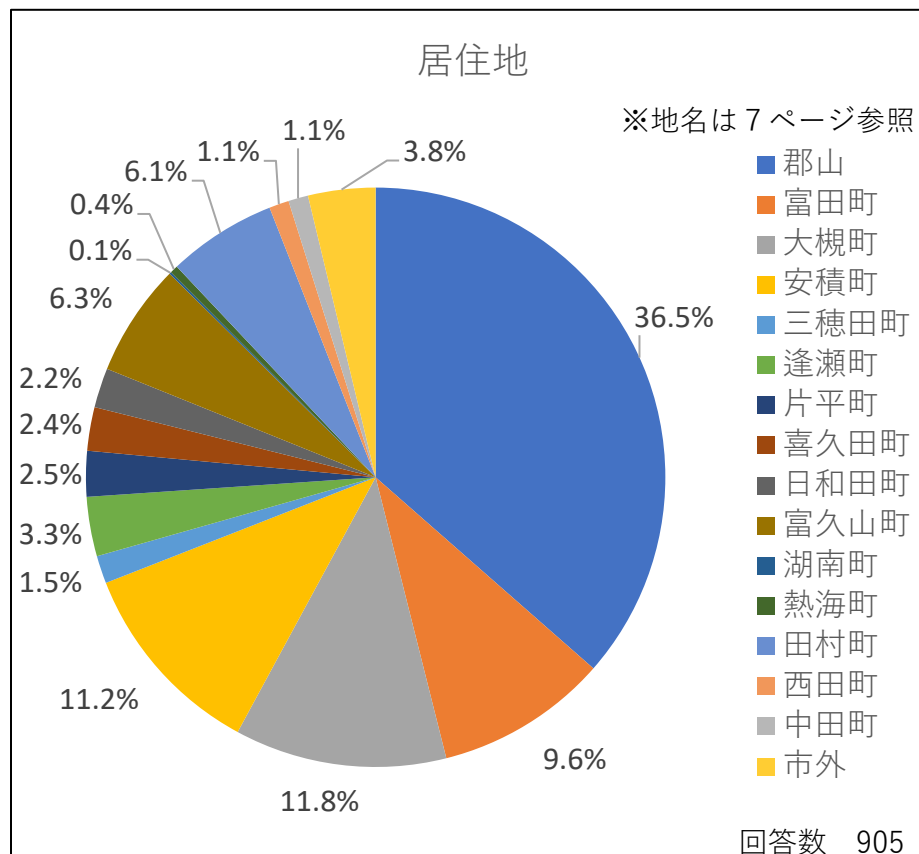
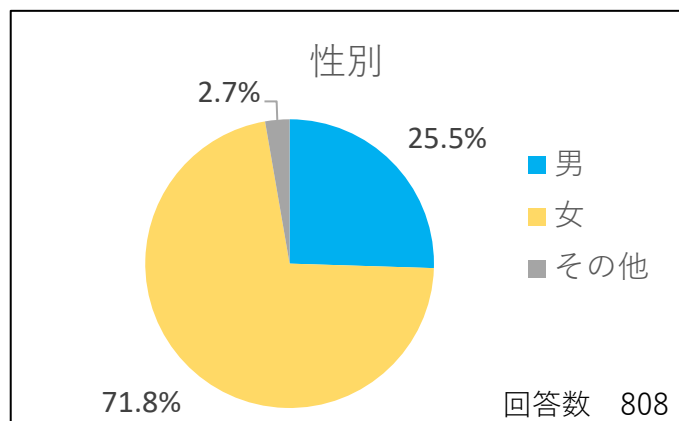
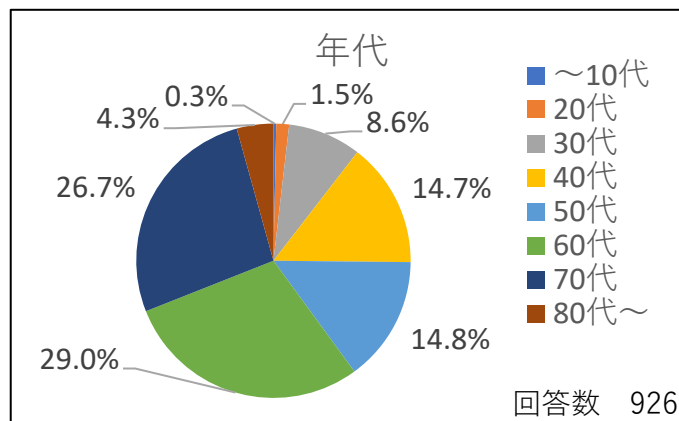
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

会場アンケートに834件、ネットアンケートに96件の回答があった。なお、本ページ以降のパーセント表記のものは、端数処理をしているため、合計しても100%にならないことがある。

■来場者について

60代から70代の女性が多く利用しており、人口が多い郡山からの来場者が多かった。



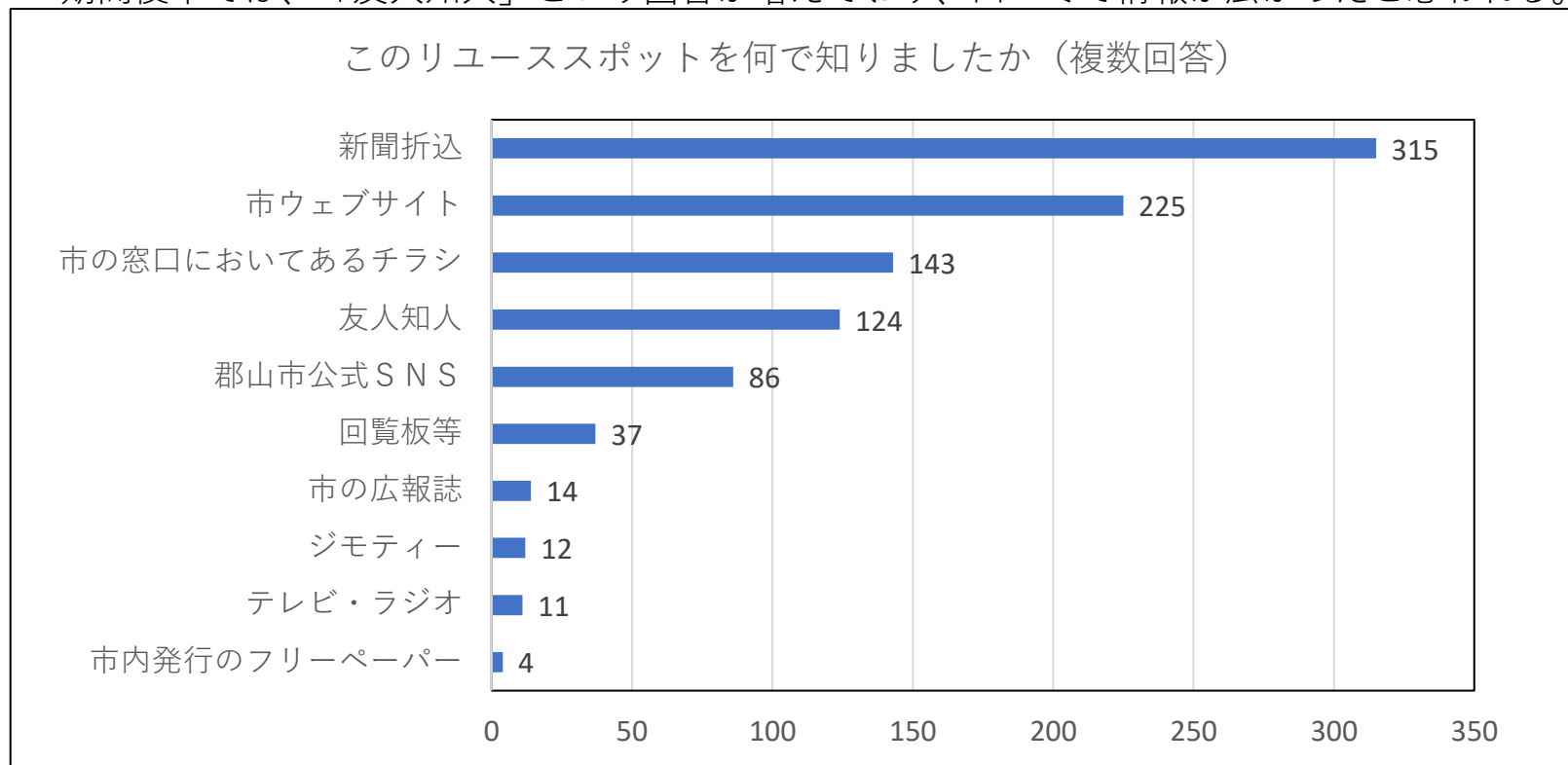
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■リユーススポットの情報を何で知ったか

新聞折込が最も多かった。新聞折込は開設初日となる10月3日に1回のみの実施だったが、期間後半のアンケートでも「新聞折込」と回答した来場者があり、効果があったと考えられる。

期間後半では、「友人知人」という回答が増えており、口コミで情報が広がったと思われる。

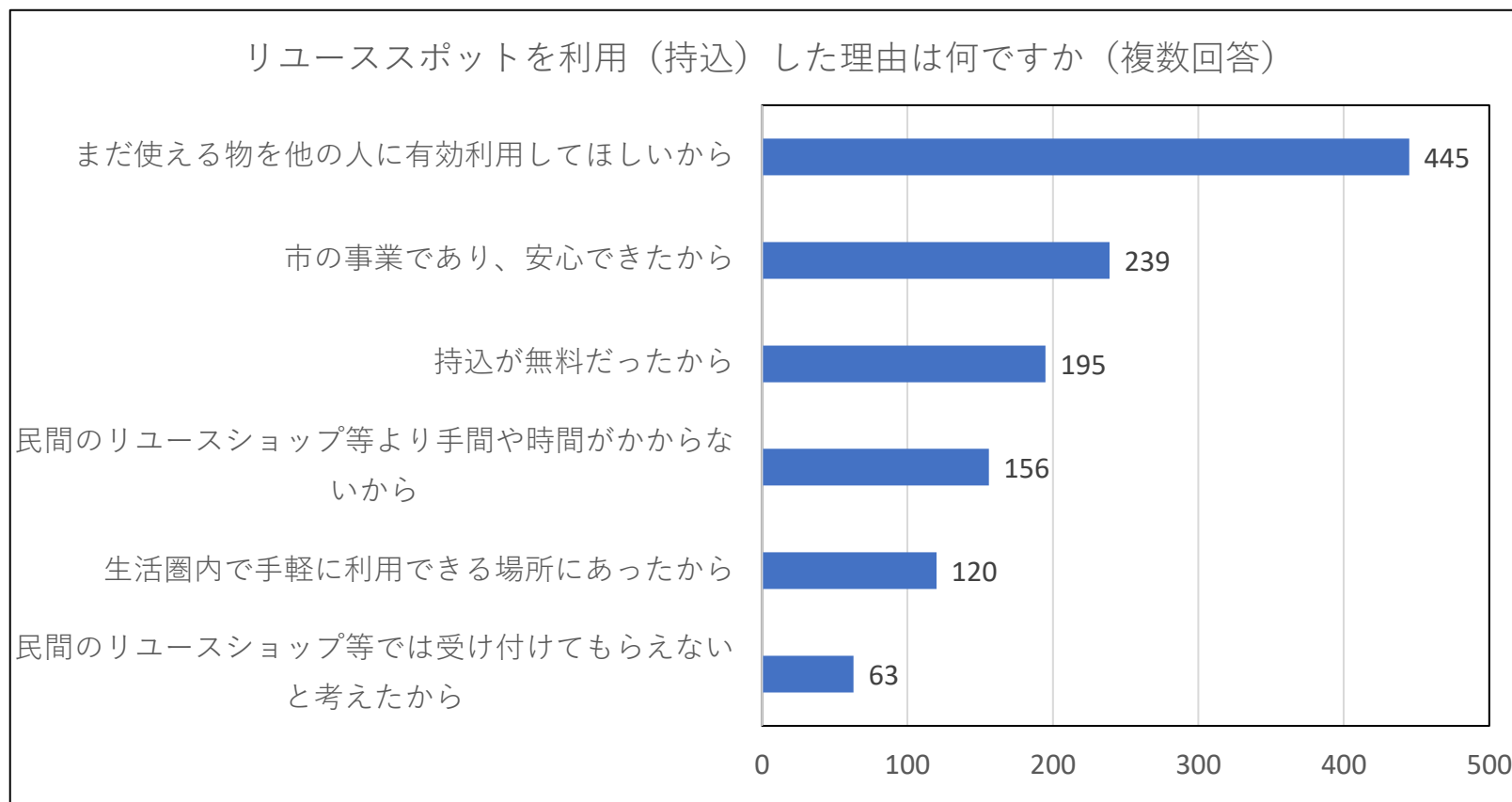


5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート）

■（持込者対象）リユース品を持ち込んだ理由

「捨てるにはもったいない」と考えての持ち込みが最も多かった。自由回答欄にも、「持ち込んだ物を持っていく人を見て嬉しくなった」との回答があった。

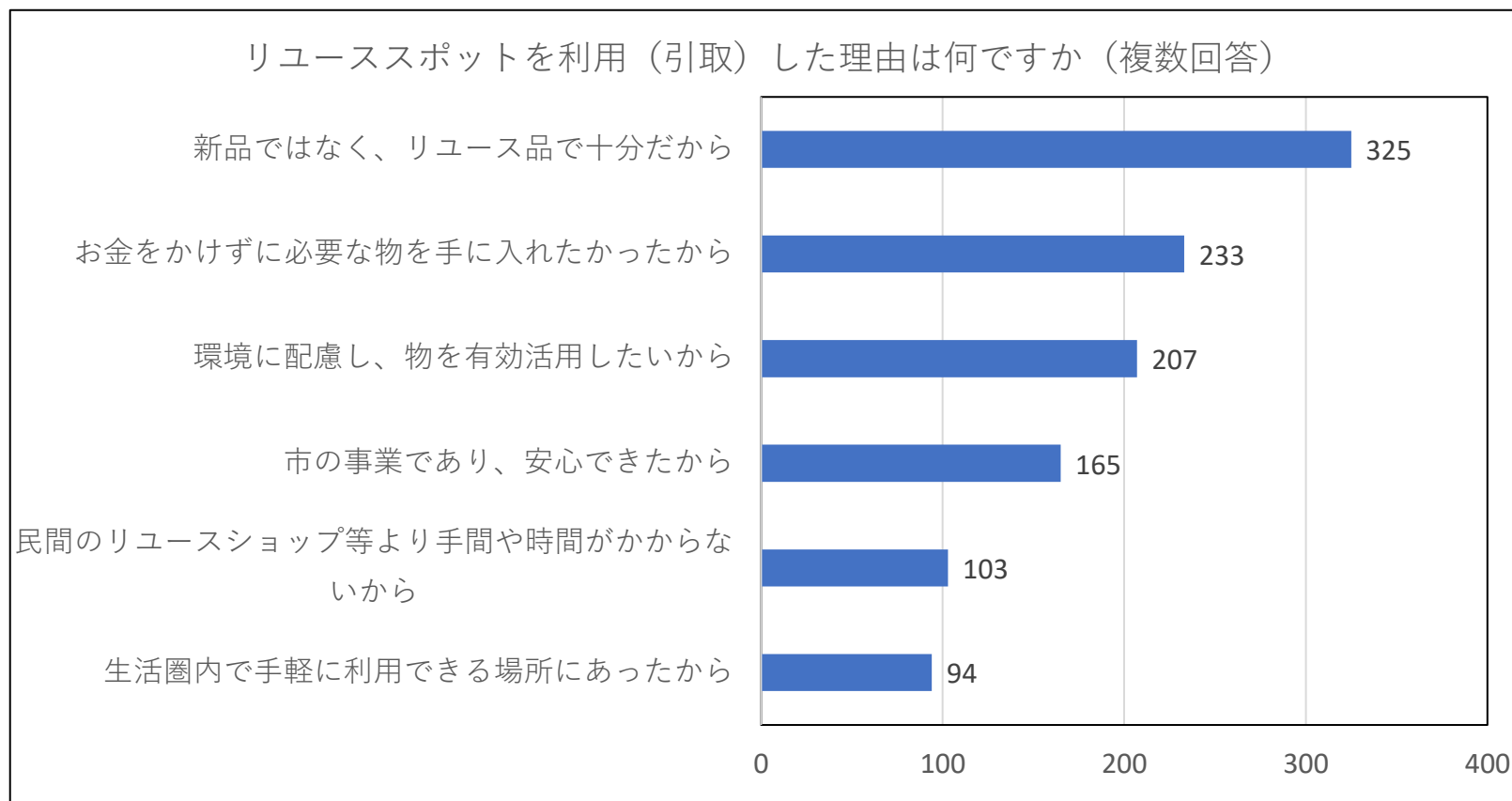


5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート）

■（引取者対象）リユース品を引取した理由

「新品でなくてもいい」「お金をかけない」などの理由が上位を占めたが、「環境に配慮した」との意見も多かった。



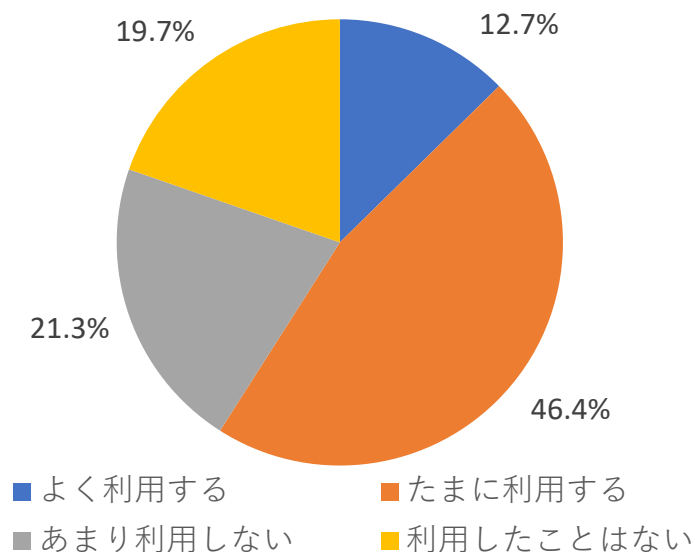
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■民間リユースショップの利用状況（全体の傾向）

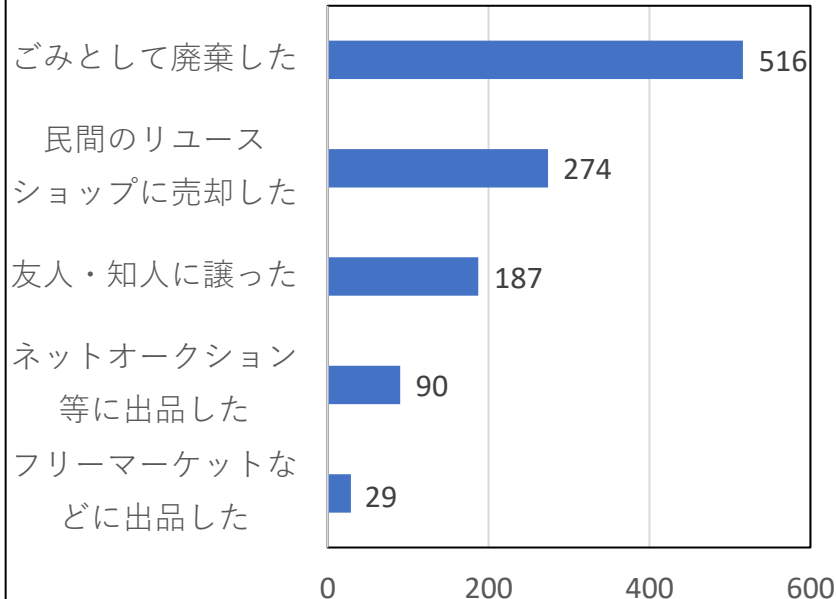
民間のリユースショップ等を「よく利用する」「たまに利用する」人が全体の6割近くを占めたが、まだ使用できる不要品が生じた際の行動として、多くの人が「ごみとして廃棄した」と回答した。

民間のリユースショップ等でリユース品の
購入・売却をすることがありますか



回答数 909

過去1年間の中で、まだ使用できるが不要な物
が生じた時、どのようにしましたか(複数回答)



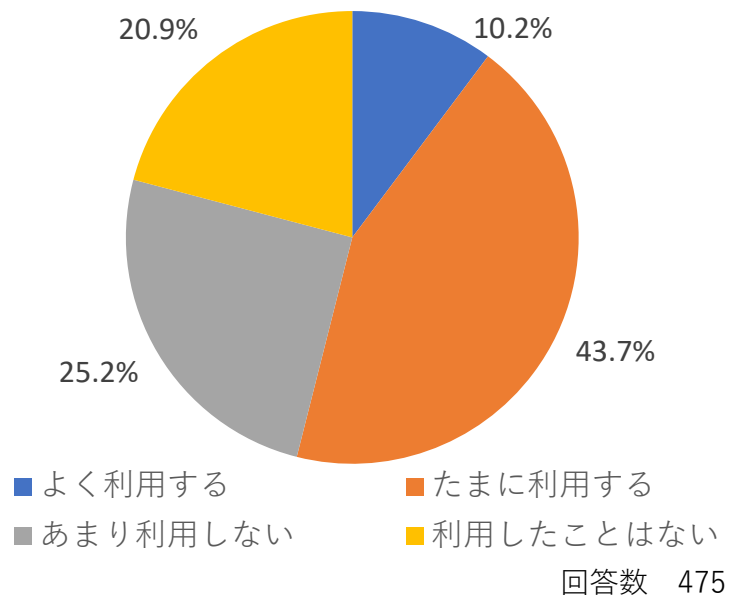
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

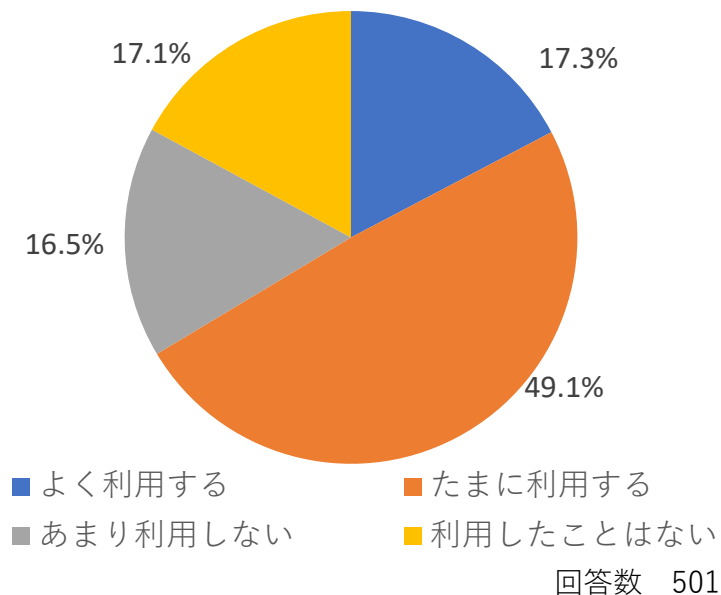
■民間リユースショップの利用状況（持込者、引取者別）

持込者のうち、民間のリユースショップ等を「よく利用する」「たまに利用する」人は53.9%なのに対し、引取者の「よく利用する」「たまに利用する」人は66.4%となっており、引取需要の方が多いと考えられる。

持込者アンケート回答者の
民間のリユースショップ利用状況



引取者アンケート回答者の
民間のリユースショップ利用状況



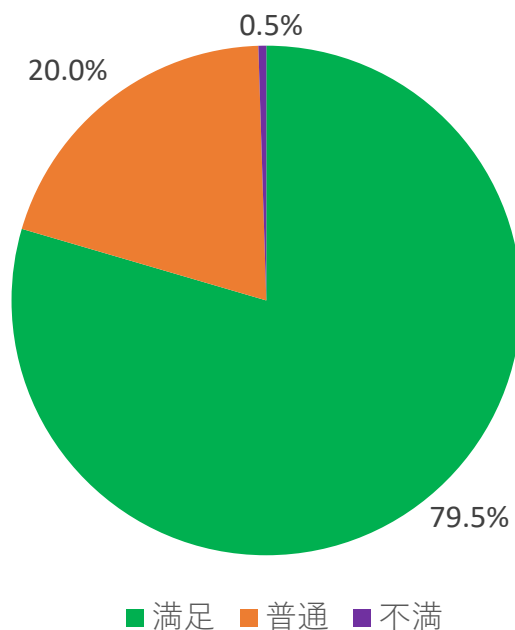
5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■本事業の支持状況

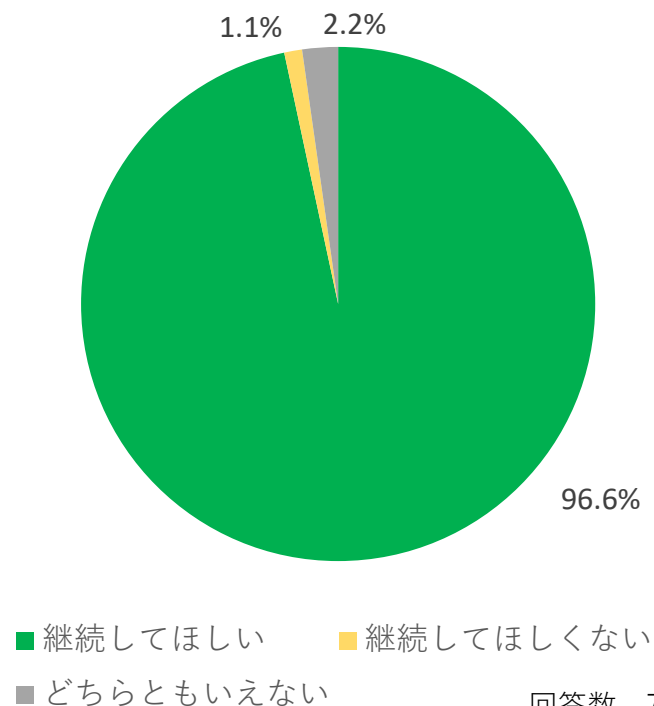
本事業に対し、8割近くが「満足」し、大多数が事業を「継続してほしい」と回答していることから、非常に満足度の高い事業であったと言える。

利用者のリユーススポットの感想
（会場アンケートのみ）



回答数 608

今後の事業継続を望みますか



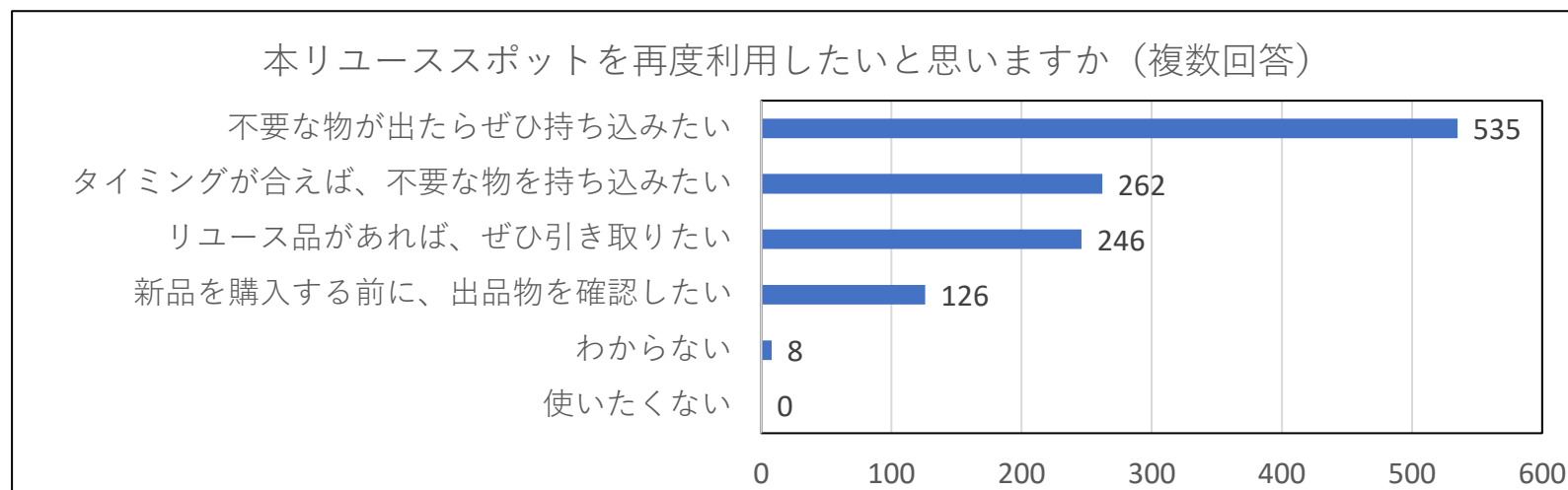
回答数 713

5. 事業の成果

アンケート結果（会場アンケート、ネットアンケート）

■本事業を再度利用したいか

持ち込みのニーズが高かった。



■自由回答欄に書かれた意見

自由記載欄には262件の記載があり、その多くは感謝の言葉だった。それ以外の具体的な要望が挙げられていたものうち、多かった意見は次のとおりであった。

意見の内容	件数
定期的な開催、再度の開催を希望	46件
会場の広さや展示方法の改善	15件
開催場所（会場が遠い、街中で開催）	14件

意見の内容	件数
土日の開催希望	10件
広報の方法について（回数、手段）	8件
子供用品の取扱希望	6件

5. 事業の成果

データからの考察

■開催場所と開催曜日

○来場者が多かった場所と曜日

人口が多い場所で開催した際の来場者数が多い傾向にあった。また、土曜日の来場者数の方が高い傾向にあった。

○来場者が増えやすい日程

市街地で休日に実施することで、来場者を増やすことができると思われる。

		地区	来場者数
常設	河内クリーンセンター (10/3～12/13の月曜～金曜)	逢瀬町	55.62人／日
臨時	郡山市役所 (10/5土曜)	郡山	138人
	西田公民館 (10/12土曜)	西田町	57人
	安積総合学習センター (10/19土曜)	安積町	289人
	郡山市役所 (11/9土曜)	郡山	305人
	田村公民館 (11/16土曜)	田村町	253人
	喜久田公民館 (11/23土曜)	喜久田町	128人
	緑ヶ丘地域公民館 (11/30土曜)	郡山	96人

開催場所と来場者数

地域	人口	世帯数
郡山	121,855	58,744
富田町	26,291	11,937
大槻町	30,454	12,913
安積町	34,639	15,696
三穂田町	3,674	1,232
逢瀬町	3,463	1,238
片平町	5,924	2,061
喜久田町	12,076	4,681
日和田町	10,331	4,167
富久山町	37,682	17,739
湖南町	2,448	1,044
熱海町	4,906	1,716
田村町	17,431	8,061
西田町	3,937	1,400
中田町	3,783	1,404

数値は令和6年12月1日現在

郡山市内の人口と世帯数

5. 事業の成果

データからの考察

■本リユーススポット事業のメリット

○効果が数字で現れるごみ減量政策

企画時のリユース率は50%程度を見込んでいたが、リユース率は70%を超え（重量ベース）、2か月半の事業で15トンがごみとならずに再利用された（P21参照）。ごみ排出量が多く様々なごみ減量政策を模索する本市にとっては、ごみ減量化に効果的な事業であった。

○市民のリユース意識向上に寄与

民間のリユースショップを利用する人は多いが、自分の手元にあるリユース品はごみとして廃棄する人が多い（P30 参照）。一方で、本リユーススポットへの持込理由として「市の事業だから」と回答する人が多く（P28参照）、民間のリユースショップへの持ち込みにハードルを感じていることがうかがえた。本事業へ気軽にリユース品を持ち込むことで、民間のリユースショップへの持ち込みのハードルを下げるができたと考えている。

■難しかった点

持ち込む物は、リユースしてくれる人のことを考え最低限の清潔さが求められるところだが、「洗えば使える」「掃除すれば使える」という感覚で、清潔とは言えない物が持ち込まれる例があった。また、傷みがありリユースが難しそうだった物がリユースされた例もあった。今後、さらに多くの事例を調査していく必要がある。

6. 今後の検討課題

検討課題

■展示会場の広さ・配置

○展示会場の広さの検討

来場者は、長い人で1時間以上滞在するため、会場が混雑することがあった。

○持込品受取場所の検討

持ち込まれたリユース品を早く見ようと、多数の来場者が持込場所に集まることがあった。業務の支障となることもあったので、持込場所を別にするなどの検討が必要である。



■リユース品とその他の物の区別

机や床の上に置いた来場者の荷物を、他の来場者がリユース品と勘違いしたことがあった。来場者に対し、自分の荷物は手から離さないようアナウンスした。

また、会場においてある市の物品をリユース品と勘違いした来場者がいた。市の物品はリユース品ではないことが分かるよう、名前の入ったシールを貼るなどして対応した。

リユース品以外の物が誤って持っていかれることが無いよう、工夫が必要である。

6. 今後の検討課題

検討課題

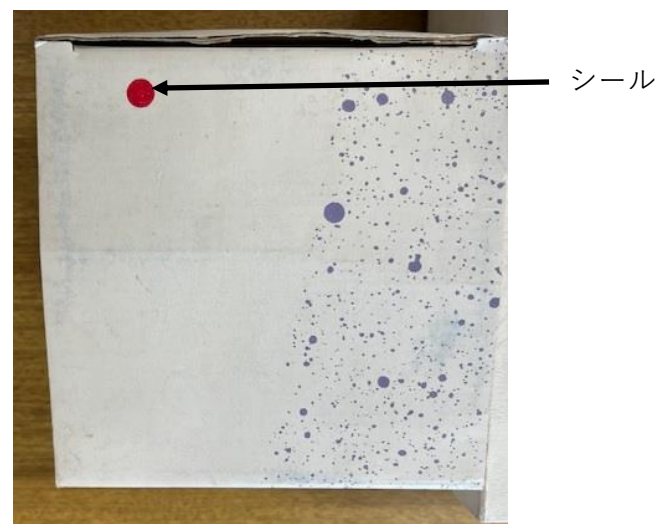
■持ち込む物についての注意点の周知

リユース品として持ち込まれた物には、汚れや破損が目立つ物や、組み立て品のパーツがバラバラの状態の物など、受け入れるべきか判断に悩むこともあった。リユーススポットが単なる不要品排出場所とならないよう、今回の知見をさらに検討し、持込の際の細かい基準を作成して公表する必要がある。

また、リユース品を受け取る人の気持ちを考えて持ち込んでもらえるよう、啓発する必要がある。

■リユース品の入荷時期の管理方法

全ての品物に入荷週を見分けるシールを貼り、その色で物品を管理する予定だったが、搬入される品数が多いことや、衣類などシールが貼れない性状のものがあるなどの理由で、全ての品物に貼ることができなかった。リユース品の性状に合わせた管理方法について検討する必要がある。



6. 今後の検討課題

検討課題

■担当者の労務体制

3名いる担当者のうち、2名以上が必ず会場に残るよう休憩時間を調整したが、大量の持ち込み、持ち出しの際は2人で対応しきれないことがあった。

また、持ち込みが大量にあると、整理が間に合わず、持込品をしばらく放置することがあったが、その放置したものに来場者が集まり、その場で散らかることもあった。

開設時間を午前と午後に分けるなどして来場者を入れない時間を作り、休憩と荷物整理の時間を確保することで、よりスムーズな運営が可能になるものと思われる。

■事業に要する費用

本実証事業に当たって要した費用は3,685千円で、内訳は下表のとおり。費用の全額を環境省による助成で賄った。

外注費のうち、運営補助業務委託に要した費用が3,036千円であった。消耗品費は、重量計測用のはかりなどの購入に使用したが、多くは市役所内部で不要となっている物（のぼりの旗竿、会場掲示用の板など）や、持ち込まれたリユース品で対応できた。

人員が少ない本市では事業実施に委託が不可欠だが、実績の無い事業に数百万円の予算を要求しても認められにくい。今回の実績を基にし、事業展開を検討していく必要がある。

消耗品費	102千円	外注費	3,329千円	印刷製本費	255千円
------	-------	-----	---------	-------	-------

7. 事業終了後の展開

今後の事業継続に向けて

■令和7年度の事業実施に向けて調整中

- アンケート調査が示すニーズ

 - 「事業継続を希望する」割合は96.6%

- 2か月半で15トンのリユース

 - 年間換算で90トンの家庭ごみ減量効果、リユース率は全体で72.7%（重量ベース）

- 後半にかけて来場者数が増加

 - 本事業が浸透し、来場者は右肩上がりに増えていった。継続して実施することで、さらなるリユースの推進と生活系ごみの減量につながる

■目利きマニュアルの作成

- リユース需要による区別

 - 品目ごとに分け、作成する

- 状態による区別

 - 汚れっぽいものは需要が無いなど、実際にあった事例を基に作成する

7. 事業終了後の展開

今後の事業継続に向けて

■継続して事業を進めていくために必要なこと

○財源の確保

現在の方法では、事業の実施に多額の費用がかかる。なるべく費用をかけずに効果を上げるため、引渡を有料にするなど、多角的な視点から検討を進める必要がある。

○会場運営方法のマニュアル化

会場に関する要件（広い展示会場、来場者駐車場の確保など）、取扱品目、受取基準など、運営に関する事項を全てマニュアル化し、スムーズな運営ができるようにする。

○広報の強化

アンケートの自由記載欄に「広報をしっかりしてほしい」などの書き込みがあった。様々なツールを活用して広報することで、利用率を上げることができる。

○ニーズの把握

本実証実験では衣類のリユースの知見も多く得られたが、子供服のリユースを子供連れが多い施設にするなどして、よりリユース率を上げていく検討をしていく。

8. 横展開へのポイント

周辺自治体への展開

■県内他自治体への情報提供

福島県は、令和4年度の1人1日当たりごみ排出量が全国47都道府県で最も多く、ごみの減量は、本市のみならず福島県全体の課題である。

こおりやま広域圏（本市及び周辺16市町村との連携中枢都市圏）や、本市と同規模の自治体（圏内にある中核市等）へ実証実験の結果を提供し、発生するリユース品の有効利用につなげることができれば、福島県全体のごみ減量につなげることができる。

こおりやま広域圏
マップ



民間事業者への展開

■民間事業者への情報提供

本事業のリユース品取扱状況の情報を、市内民間事業者と共有する。市民の需要と供給の状況を正確に把握することで、リユースショップ側の受入体制の拡充を啓発するなどして、市民の一層のリユース促進につなげていく。また、事業系由来のリユース品受入についても働きかけ、本市の排出量が多い事業系廃棄物の減量につなげる。

8. 横展開へのポイント

（参考）本市の企画から実施までの流れ

令和6年度のゼロ予算実証事業として実施する計画のところ、環境省実証事業の採択を受け費用助成を受けたことから、事業規模を大きくして実施、様々なデータを収集することができた。

		実施内容	
令和4年度	5月	○世田谷区不要品持ち込みスポット（喜多見）視察 ○八王子市粗大ごみリユース事業について聞き取り	先進地視察
令和5年度	7月	○世田谷区不要品持ち込みスポット（エコプラザ用賀）視察	
	8月～	○郡山市版リユーススポットの企画立案	企画
令和6年度	4月	○環境省「使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」応募 ○実施会場の検討	
	6月	○環境省実証事業採択	準備
	7月	○関係当局との調整	
	8月	○事業実施期間、実施会場、実施方法の決定	
	9月	○物品購入、チラシ印刷発注、リユーススポット運営業務補助委託締結	
	10月～ 12月	○リユーススポット開場、月ごとのデータ収集	実施
	12月	○事業終了、報告書作成	事業完了